

令和4年12月23日（金）

2学期終業式 講話

おはようございます。

2022年もあと1週間ほどで終わりですね。皆さんにとって、どのような1年だったでしょうか？先日、日本漢字能力検定協会から発表された「今年の漢字」第1位は「戦」でした。ロシアのウクライナ侵攻により、「戦」争の恐ろしさを目の当たりにした1年、円安・物価高・感染症などによる生活上での「戦」い、スポーツでの熱「戦」・挑「戦」も注目されました。兎に角、慌ただしい1年だったように思います。「戦」という漢字から皆さんは、真っ先に①たたかう（ア）武器を取って争う（イ）勝負する、競争する という意味を思い浮かべると思いますが、「おののく」という意味もあります。「おそれる」ということですね。人って一体何に「おそれる」のだろう？「目に見えないもの」「自分には理解できない、わからないもの」に「おそれる」のだと私は考えています。だとすれば、「おそれ」をなくすには、対象物や対象の相手を「理解しようとする」「分かろうとする」ことが必要なはずで、「え～、なんでそう思うん？それは、ありえんやろ。」「理解できません。」と非難したり、排除したりするのではなく、「あ、そんな考え方もあるんや。」「それもありやな。」と理解しようとする、分かろうとする意識が「おそれ」をなくす第一歩になるわけです。この「理解しようとする」意識は、人間関係に悩む我々に最も大切なことだと思っています。お互いを理解しようとするときに、絆が生まれ、そこに豊かな人間関係が生まれてくる。実際には、そんなに簡単なことではないかもしれませんが、まずは、その意識を持つことを大事にしませんか。

そして、何よりも理解しがたい存在は自分だという人もいるでしょう。分かっているようで分かっていないのが自分という存在なのかもしれません。「自分は将来何がしたいのか」「自分が好きなことは何なのか」「自分は何に向いているのか」「自分にとって、幸せって何なのか」……。考え出したらきりがありません。そんな時は、「あいつはどう考えているんだろう？」「あいつはどうするつもりなんだろう？」「あいつにくらべて俺は…、私は…」という具合に、知らず知らずのうちに自分と他人とを比べていませんか？そして、自分の悪いところ、できていないところばかりが目について、ネガティブになってしまう。そんなことをしたっていいことは何もありません。他人と比べるのではなく、意識して、自分自身をもっと見る。それも、〇〇ができるようになった。というように自分の成長を評価してやる。自分自身を褒めてやること。そう意識することで、次はさらに〇〇してみようという前向きな気持ちになれます。他の誰でもなく、あなたはあなたなのだから。

今日は、みなさんに2つの「意識」について話しました。しっかりと意識して、自分たちが過ごしやすい居場所を作っていきましょう。最後に、詩人の まどみちお さんの「ぼくがここに」という詩を紹介します。

ぼくが ここに いるとき
ほかの どんなものも
ぼくに かさなって
ここに いることは できない

もしも ゾウが ここに いるならば
そのゾウだけ
マメがいるならば
その一つぶの マメだけ
しか ここに いることは できない

ああこのちきゅうの うえでは
こんなに だいに
まもられているのだ
どんなものが どんなところに
いるときも

その「いること」こそが
なににも まして
すばらしいこと として

明日はクリスマスイブ、そして、もうすぐ正月。時間は絶えず流れていきます。来るべき
2023年がみなさんにとって、素晴らしい年となりますように!!
1月10日の始業式には、元気に会いましょう!!
以上で終わります。